

# 基調報告

日時 10月4日(土) 10:20~10:50

会場 奈良県檜原文化会館 大ホール

## 男女共同参画に関する最新状況について

発表者：岡田 恵子 (内閣府男女共同参画局長)

### I. 男女共同参画推進の意義

男女共同参画の推進は、全ての方が生きがいを感じられる多様な社会の実現に不可欠であり、我が国の経済社会の持続的な発展に不可欠な要素です。少子高齢化や価値観の多様化が進む中、あらゆる分野の意思決定に男女が参画し多様な視点を確保することが、活力ある持続可能な社会につながります。



### II. データで見る現状と成果

#### 1. 構造の変化 (約40年前と比較)

人口構造：女性就業者が増加する一方で、就業者全体が高齢化。

世帯構造：単独世帯の割合が最大に。高齢者単独世帯の増加も背景のひとつ。

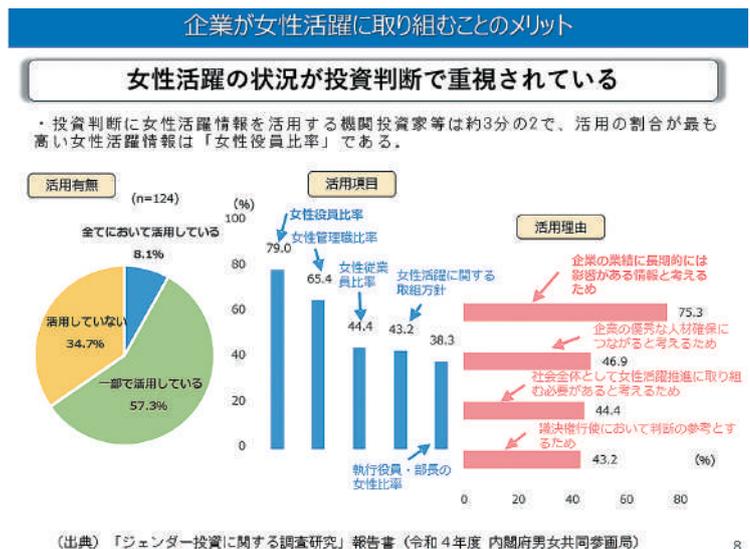
共働き：共働き世帯は徐々に増加。夫婦ともにフルタイムで働く世帯も増えている。

#### 2. 各分野での女性活躍

政治分野：議員の女性割合は衆議院 15.5%、参議院 29.6%、都道府県議会14.6%、市町村議会18.1%。女性参画の課題としては、活動と家庭生活の両立、女性議員へのハラスメントなどがある。

行政分野：国家公務員の採用者に占める女性の割合は約4割程度。役職に就く女性も増えている。

企業分野：管理職相当の女性割合や上場企業の女性役員比率は上昇傾向にあるが、依然他国との差は大きい。機関投資家の約3分の2は長期的な企業業績への影響があるという理由で女性活躍の情報を投資判断に活用している。







## IV. 今後の展望

政府は、5年間の「男女共同参画基本計画」を定め、その中で毎年各省庁と連携して取り組む施策「女性版骨太の方針」をまとめています。直近では「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」を重点的施策の一つ目に定めています。引き続き横断的な視点を持って、進めていきたいと考えています。

**女性版骨太の方針2025（女性活躍・男女共同参画の重点方針2025）コンセプト**  
 ～いつでもどこにおいても、誰もが自分らしく生きがいを持って生きられる社会の実現を目指す。多様な地域で多様な幸せを実現させ、活力ある日本を目指す～

【女性版骨太の方針】 女性活躍・男女共同参画を加速するため、各府省が当該年度及び翌年度に重点的に取り組む施策について定める方針。今年6月10日に政府決定。

**I 女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり** 女性が地方での生活を選択し、傾向が強まる中、定型的な性別役割分業意識の解消等を図り、女性を育めた誰もが安心して住み続けられる地方を構築することは待たない課題。

- ✓ 全国各地における女性の起業支援、地域における人材確保・育成及び体制づくり 等

**II 全ての人が希望に応じて働くことができる環境づくり** 各地の女性が、いかなるライフステージにあっても仕事を獲得し、自分らしく生きていくための増進し、女性への家事・育児・介護の負担の軽減を正し、所得向上・経済的自立を図ることが必要。

- ✓ 女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の強化、
- ✓ 仕事と育児・介護の両立の支援、仕事と健康課題の両立の支援 等

**III あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大** 女性の活躍は、多様性（ダイバーシティ）が尊重される社会を実現するとともに、我が国の経済社会イノベーションをもたらし持続的な発展を確保する上で不可欠な要素であり、あらゆる分野において一層の推進が必要。

- ✓ 企業における女性活躍の推進、政治・行政分野における男女共同参画の推進、
- ✓ 科学技術・学術分野における女性活躍の推進、国際的な分野における女性活躍の推進

**IV 個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現** どこに住んでも、個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保されることは、男女を問わず、人々が各地域で暮らしていくための基盤。

- ✓ 配偶者等への暴力への対策強化、性犯罪・性暴力対策の強化、困難な問題を抱える女性への支援、
- ✓ 男女共同参画の視点に立った防災・復興の推進、WPSの取組の強化、性差を考慮した生涯にわたる健康への支援 等

**V 女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化** 一方の性の視点のみに立脚するのではなく、男女別の影響やニーズを考慮することは、真に男女がともに利益を享受できる施策、製品・サービスを生むことにつながり、社会における生きづらさをなくしていくことにつながる。

- ✓ 男女共同参画の視点に立った政府計画の策定等の推進、ジェンダー統計の充実
- ✓ あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画 等

様々な分野で男女がともに参画し、あらゆる方が暮らしやすい社会を実現すること、そして地域での男女共同参画が進み、地域の活力が高まること、日本全体の活力向上、ひいてはウェルビーイングの向上につながります。

本大会が男女共同参画社会の形成促進と推進の原動力となることを期待しています。